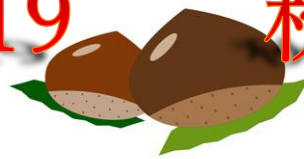




# News Letter 2019 秋



# ～もくじ～



- 1. FIWC 九州について**
- 2. 委員長挨拶**
- 3. キャンプ紹介**
- 4. 国内イベント報告**
- 5. 役員紹介**

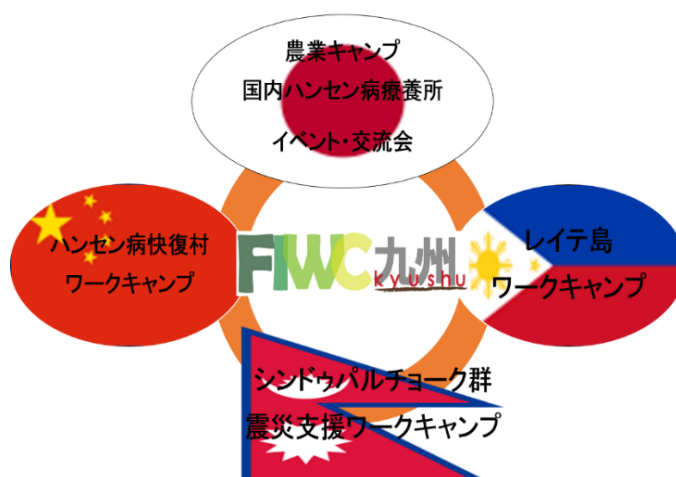




## 1. FIWC 九州について

FIWC とは、フレンズ国際ワークキャンプ（Friends International Work Camp）の略称である。第二次世界大戦後復興のため、アメリカ・フレンズ奉仕団（AFSC）がワークキャンプを日本で実施した。そして、1950 年代に AFSC から独立し、FIWC が結成された。私たちの FIWC の「フレンズ」はその精神を受け継ごうと意思から採用された。それ以来 FIWC は、国内外でワークキャンプを 60 年以上実施している。現在その支部は全国に広がり、FIWC 関西委員会、関東委員会、東海委員会、九州委員会が活動している。

私たち九州委員会は九州（主に福岡）の大学生が主体となり、学生のみで運営・活動をしており、国外ではフィリピン、中国、ネパール、国内では耶馬溪の農業キャンプや国立ハンセン病療養所などを中心に活動してきている。私たち FIWC は、一般市民・学生による任意の非政府組織（NGO）であり、いかなる政治・宗教団体とも一切関係のない学生団体である。



## 2. 委員長挨拶

この4月からFIWC九州委員長という役職に就かせてもらい、役員とともに約半年間活動してきました。活動していく中で役員メンバーにはもちろん、多くのOB・OGの方々に救われました。私がここまでやってこられているのは、周りの方々のおかげです。

各国の夏のキャンプが終わりました。前代未聞の事態に困惑する難しい局面もありましたが、キャンパー全員が無事に帰国できて何よりです。その際にも、多くのOB・OGが動いてくださりました。改めて、心強いFIWC九州のつながりを感じました。

そのようなこともあり、私は近頃役員のありかたや存在意義について考えさせられます。正解はないのかもしれませんが、役員として活動して思うことがあります。FIWC九州の経験を大切に思っていて、その活動がこれからも続いてほしいと願う人たちが多くいる。だから役員はFIWC九州のこれからを守る一翼を担わなければならないということです。少しずつカタチは変わっても、FIWC九州の活動に参加した人たちが、「FIWC九州の活動に参加してよかった」と思ってもらえるような団体でこれからもいられるように、尽力していきます。

（平井 侑貴）

### 3. キャンプ紹介



#### チャイナキャンプ

- 概要 期間：8/9～9/2  
場所：中華人民共和国広東省広州市  
参加人数：6人(先発5人後発1人)



#### ○キャンプテーマ 『紡 -story- 』

これまで築きあげられてきたキャンプやキャンプに対するそれぞれの想いを紡ぎ、私たちのキャンプ(物語)を作りたいという思いが込められています。考えや思い出は一人一人違うものであるけれど、それを紡いでいくことで1つのチャイナキャンプを成功させたいという思いでこのキャンプテーマにしました。



#### ○キャンプ内容

①儒洞村でのワークキャンプ、②カンファレンス(会員代表総会)、③藤橋村 visit の活動を行いました。①では、村人の家の屋根にある古い断熱層を取り除き、新しい断熱層を作りました。その他にも、村人とカードゲームをしたり、朝から夕暮れまで一緒に過ごしたり、パーティなども行いました。②とはJIAが一年に一度行っている報告会のようなもので、8つある地区の代表の学生が報告を行います。FI 関東委員会の方と一緒に今後のFIについて話し合いをする機会もありました。③では日本茶を2種類(緑茶と麦茶)用意し、村人に羊羹と一緒に提供しました。

#### ○キャンプ総括

今回のキャンプでは、それぞれ中国の学生と良い関係を築きながら村人と楽しい時間を過ごすことができたと思います。今回、visit キャンプ中にキャンパーが犬に咬まれるというアクシデントが起きました。安全管理、危機管理が足りていなかったことを痛感し、同時に私たちがたくさんの方々を支えられてキャンプに参加できていることを実感しました。しっかりと今回の反省を次に生かしたいと思います。

(加勢田 有希)





## フィリピンキャンプ



### ○概要

期間：8/12～8/31

場所：フィリピン共和国レイテ島タバngo市  
サンタローサ村、同トゥーガス村

キャンプ内容：昨年度キャンプの事後評価、今年  
度のワーク内容の決定

キャンパー：8名



### ○活動の目的

今年後の活動の目的は、「貧困解消」です。皆さんは「貧困」と聞いて、何をイメージしますか？「貧困解消」の定義はキャンパー一人一人異なりますが、私たちの活動で一人でも多くの村人を笑顔にすることが出来れば、それは「貧困解消」への大きな一歩かと考えます。

### ○キャンプ地決定について

今年度は3つの村で survey を行いました。「貧困解消」のテーマのもと、ワーク内容をウォーターシステムに限定せず、昨年度の2ヶ所の調査地と新たな候補地の、計3つの村を訪れました。3つの村に共通していたのは水（生活用水・飲料水）に関する問題を抱えていることでした。私たちはフィリピンの村の現状を再認識させられるとともに、私たちにできることを考えました。その中でトゥーガス村は水道設備の改善方法が昨年度のサンタローサ村と同じということで、この代でワークを行うことに意味があると考え、来年の春はトゥーガス村でキャンプを行うことに決定しました。



### ○総括

今回のキャンプでは、キャンプ地の決定方法や survey 調査の方法など、今までのフィリピンキャンプとは異なる点がいくつかありました。その中で、昨年度の本キャンパー・新キャンパーともに自分の意見を出し合い、より良いキャンプを作ることが出来たのではないかと思います。また、キャンプ中にキャンパー2名が体調を崩しました。ロクロクさんをはじめ現地の方々の協力もあり無事回復しましたが、安全面の見直しの必要性を感じたとともに、キャンパーとしての私たちの一つ一つの行動が周りの人々にどのような影響を及ぼすのかを考えさせられるキャンプになりました。下見の反省を生かしながら、今後の活動がより良いものになるよう頑張っていきたいと思えます。（竹田 匠吾）

## ネパールキャンプ



○期間：8.24～9.6

○場所：ネパール連邦民主主義共和国 シンドゥパル  
チョーク群グマンマニサワラ村、バッテ村、  
ラムチェ村

○目的：2015年の大地震で崩壊した、グンバの再建の  
事後アセスメント、3つの村でニーズ調査や  
話し合いをして、春のキャンプにつなげる活  
動を行いました。ネパールで復興活動がなされ



て4年目の今、専門知識などを兼ね備えていない私たち学生が、ネパールで村人と一緒に一つのことに取り組み、喜びを分かち合える活動は何かを調査しに行ってきました。

○人数：4人

○キャンプスケジュール

<8.25～8.28@グマンマニサワラ

前回のキャンプ地に到着し、前回のワークの事後評価（事後アセスメント）を行いました。また、今回はこの村でも調査を行い、新たに村のニーズについて調査しました。



<8.29～8.30@バッテ

FIWC九州では、初めて滞在した村でした。ここでもニーズ調査を行いました。

<8.31@グマンマニサワラ

キャンプ地として決定したため、イベントを行いました。二人羽織や、手形アート、ボール遊びを計画しました。近くに住んでいる子供たちが参加してくれました。

<9.1～9.3@グマンマニサワラ

村人との交流をメインに過ごしました。グンバの管理者である村人から、政府からの支援があることがわかり、今回決めた内容のワークが厳しいことが発覚しました。



<9.4～9.6@ラムチェ、カトマンズ

緊急ではありましたが、ラムチェで調査を行いました。

○総括

今回は、キャンプ地を現地で決定できず帰国してしまいましたが、国内でひとりひとりの考えを掘り下げ、今後について重要な意見を出すことができると思います。調査に行ったからこそ分かる、現地の実際の生活や自分たちが活動する意味をそれぞれ感じ、一回り成長したと思います。

今回、初めて滞在する村もありましたが、どこにいても「ナマステー！」と言って家に招いてくれるネパール人のあたたかさにほっこりしました。

（橋口 愛和）



そして2019年夏！FIWC 東海のインドネシアキャンプに九州のメンバー3名が参加しました！  
どんなキャンプだったのでしょ～？!



## インドネシアキャンプ

- 期間:8/7～8/27
- 人数:9名 (FIWC 東海 6名+FIWC 九州 3名)
- 場所:インドネシア共和国中部ジャワジュバラ県ドノロジョ村
- インドネシアキャンプとは？

インドネシアは年間新規ハンセン病患者数が世界で3番目に多く、社会にはハンセン病=呪い、烙印といったイメージが浸透しており、

治療が終わった後も故郷で生活するのが困難な状況にある人々が多くいます。そのような状況の中、2010年からインドネシアの大学生団体「Leprosy Care Community」とFIWC 東海委員会がインドネシアのハンセン病快復コロニーでのワークキャンプを行っています。今回のキャンプは、FIWC 九州委員会からも3名参加しました。



### ●キャンプ総括

今回のキャンプは、FIWC 九州委員会にとって初となるインドネシアキャンプでした。活動内容は、排水溝の建設のワークとホームビジットによる村の方々との交流です。ワークはインドネシア人キャンパー、村の方々と協力して予定通り完成させることができました。ホームビジットでは、村の方々から様々なお話を聞かせてい

ただいたり、お手伝いをしました。2週間ドノロジョ村で過ごして、常に村の方々も、インドネシア人キャンパーも、日本人キャンパーも“笑顔”が絶えませんでした。メンバーひとりひとりが“あなた”を大切にする素敵なキャンプになったと思います。

(久保 海晴)





## 耶馬溪キャンプ

場所：大分県中津市耶馬溪村

日程：第1回 苗床作り 4/27(土)～28(日)

第2回 田植え 6/15(土)～16(日)

第3回 稲刈り 10/19(土)～20(日)

参加人数：30名程度



耶馬溪キャンプは基本的に4月末、6月中旬、10月中旬の年3回行われ、耶馬溪の方々と農作

業のワークをするキャンプです。私たちはお手伝いに行っているのではなく、体験させて頂いて

います。一泊二日という短い時間ですが、深く耶馬溪の方々と関われるだけでなく、このキャン

プを通し農業に触れる事で、少しでも食と農業を考えるきっかけになってほしいと考えています。



### ～耶馬溪係からひとこと～

初めて耶馬溪キャンプに参加して下さる方、2回目以上の方、全員に楽しんでいただけるように全力で毎回準備しています。もし、少しでも気になる方がいましたら是非お気軽に参加してほしいです！絶対に楽しかったと言ってもらえる自信があります！！

(西川大輝)





## 福智町キャンプ



### ○どうして福智でFIが？

福智町キャンプというのがあったの？と思われた方も多いと思います。福岡県田川郡福智町。博多から電車で一時間ちょっとの場所にあります。いつも私たちが活動しているネパール、中国、フィリピンより、遥かに近い場所です。

先進国である日本には、私たち FIWC が毎年取り組んでいるような海外にある課題はほぼ無いといっても過言ではありません。電気も水道も通っているし、道も綺麗に舗装されています。

でも日本にも、電気も水道も通っておらず、道はガタガタ、大気汚染もひどい、そんな時代があったはずです。逆に、課題先進国である日本が今抱えている課題を知りアプローチすることは、他の国の未来にもつながるのではないかと、そういう課題意識で福智町での活動に取り組んでいます。まだ駆け出しのキャンプで、手探り状態ではありますが、今年の活動の一部を紹介します。

### ○4月 山菜取り

子供からおじいちゃんおばあちゃんまで、幅広い世代の方々を集めて、山菜を採り、一緒に料理して食べるワークショップを行いました。

山菜って、福智のおじいちゃんおばあちゃんにとっては、レタスやキャベツなどの野菜と大して変わらない、「普通のもの」です。でも、子供たちや私たちにとっては、「この草食べれるの!？」って思うってしまうものです。

ワークショップの日、おじいちゃんおばあちゃんは、子供たちにとっては「ものしり博士」に見えたと思います。おじいちゃんおばあちゃんは、手を泥だらけにしながらか夢中で山菜を採って、慣れない包丁で調理をして、おいしいおいしいといいながら笑顔で料理を食べる子供たちを見て本当に嬉しそうでした。



### ○7月 中高生向けワークショップ

山菜取りのワークショップでも使わせていただいた図書館「ふくちのち」で、中学生、高校生を対象に「20歳をのぞいてみよう！～大学ってこんな感じ、海外ってこんな感じ～」という題でワークショップを開催しました。現在大学生として大学に通ったり、長期休暇を利用して海外に行ったりしている私たちのことを知ってもらい、子供たちに自分が20歳になった時のことを少し想像してもらいたくて企画しました。

普段、子供たちに向けてプレゼンしたりする機会はほとんどないので、「どうしたらわかりやすく伝わるだろうか?」「どうしたら楽しんでもらえるだろうか?」と考える作業は大変でした。本番当日は子供たちの真剣な顔や楽しそうな顔、驚いた顔など様々な表情を見ることができました。来てくれた子供たちには、「たのしかった」「大学や海外に興味が出た」などと言ってもらい、保



護者の方々には「ぜひ来年も企画してほしい」など嬉しい声をいただくことができました。

福智町の大学進学率は、日本の平均に比べると低い水準にあります。大学に行くことや、海外に行くことが、一番正しい選択であるとは限りませんが、自分の将来の世界を広げる選択肢の一つとして紹介することができたのではないかと思います。

紹介した二つの取り組みのほか、このような取り組みを通して福智町で得ることができたご縁を生かして、キャンパー個人個人が福智町でそれぞれの活動をするなど、福智町キャンプは独自の形で成長しています。FIWC の隅っこでこっそりと活動を続ける福智町キャンプをどうぞよろしくお願いします！

(北川 真衣)

## 敬愛園訪問



### ○概要

日程：6月8日～9日・9月13日～15日

場所：鹿児島県 星塚敬愛園

### 敬愛園とは..?

全国13にある国立ハンセン病療養所のひとつです。外部との交流も盛んで、毎年円内外からお客さんが来る夏祭りや、園内外のチームが参加するゲートボール大会などを行なっています！

上記の日程で、鹿児島県の星塚敬愛園を訪問し、小牧おじいちゃん（小牧義美さん）に会いに行きました。9月の訪問ではじいちゃんの89歳の誕生日が

近く、また敬老の日ということもあり、みんなでお

寿司やケーキを食べました。また、小牧じいちゃんを昔からよく知る OG

の方が来てくださり、一緒に誕生日をお祝いしました。昨年の夏、残念ながら叶わなかった小牧じいちゃんの米寿祝でしたが、今年の夏は元気なじいちゃんの米寿後祝いをすることができました。またみんなでお牧じいちゃんに会いに行く予定です！！





## FIWC 九州 前期イベントまとめ



### 4/12(金) 新歓

新歓はキャンプの話が深く聞けるすごく良い機会です！新入生も色々なキャンパーが語るキャンプの魅力に惹かれたようです！！

### 4/21(日) 報告会

天神の仕事基地でFIWCの活動、春の各キャンプの報告が行われました！各国のご飯も振る舞われ、交流会もありました。新入生とキャンパーが沢山交流できるすごく良い機会になったと思います！



### 5/24(金) FP～しえいさん講演会～

ペシャワール会で働かれているOBのしえいさんの講演会がありました！しえいさんのFIWCワークキャンプの魅力や国際協力の在り方などのお話を聞くことができ、すごく為になりました！

しえいさん、貴重な機会をありがとうございました！

### 6/1(土) BBQ@小戸公園

たくさんの新入生が来てくれました！キャンパーの締め切りも過ぎ、キャンプに申し込んだ新入生からキャンプすごく楽しみ！という声を聞きました(^^)



### 7/13(土) 国内合宿

夏キャンプ前最後のイベントでした！  
他キャンプのキャンパーとも関わり、キャンプに対する熱意がお互いしっかり伝わりました！  
みんなキャンプにドキドキです(^^)

## 5. 役員紹介



最後に...残りの任期も半年となりましたが、役員を紹介と後期任期の目標を紹介します！！



### 委員長：ゆうき

後期はみんなと楽しく頑張りたいです！！

役員は大変な仕事もありますが、みんなで協力して楽しい雰囲気を作っていきたいです(^^)

悔いの残らぬよう最後まで頑張ります！

### 副委員長：まさみ

いつの間にやらあつという間に役員も折り返し地点を過ぎ、残り半年になっていました。時が流れるのは早いですね。きつとこんなにFIにがっつりと関われるのも最後の機会に近いなあとと思うので、残りの半年大輔と二人三脚で副委員長として団体全体を支えていきたいと思います！

1番大きい目標は委員長を本当の意味でサポートすることです(〜)！

FIを愛してくれる後輩たちが増えるように頑張ります(^\_^)★



### 副委員長：だいちゃん

FIの活動に参加した人がFIをより好きになれるように、また、安心して活動に参加できるように環境作りをしていきたいです。

私の大学生活はFIなしでは語れません。残り半年間、周りを見渡しながらゆったりと歩いていきます。

### 会計：しばた〜

会計担当のしばた〜です。前期同様、FIWC九州の会計をよりいいものにできるよう、また、各イベント・活動の運営がしやすくなるようサポートできるよう頑張っていきたいと思います！よろしくお願いします！

(裏目標：イベント全参加！)





## 国内係



### いずみ

今年度も残り半分ということで、これから自分が担当するイベント、そうでないイベントしっかり盛り上げられるように頑張ります！

### ぽぽ

なんとなくでなっちゃった役員もあと半年です、！ちょっとさみしい！前期はたくさんの人に支えてもらったので後期は少しでも恩返しができるように頑張ります～！！😊



### よっつー

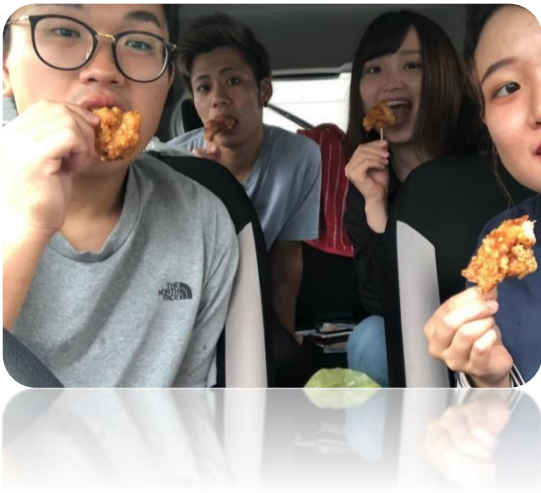
前期は役員らしく働いた実感がないので、後期は貢献できたらいいなと思います！後期は国内係の仕事としては報告会や運動会があるのでしっかりと盛り上げていきます！最後までみんなで楽しみましょう！

### まい

前期は、ほかの国内係のメンバーと協力しながら色々なイベントを回して行けてよかったです。後期もいろいろなイベントが円滑に回るようにがんばります。あとは新しい取り組みにも挑戦していきたいと思っています。福智町での活動など他の活動ともうまく両立させていきたいです。



## 耶馬溪係



### ひなた

4.6 月耶馬溪キャンプは多くの耶馬溪の方々と交流できただけでなく、新しい出会いもありました。そこから多くの気づきがあり、また耶馬溪とfiの繋がりがより深くなるきっかけになったのではないかと思います。10月の耶馬溪が今期最後なので、多くの人が満足できるようなワークショップの内容を考えていきたいです。

後期は耶馬溪キャンプが1回だけなので、他の役員の方の力になれるようfiに時間を注ぎます！

### にっしー

耶馬溪係としての仕事も残すところあと1回となったので  
全力を尽くして成功させたい！！



### みなみ

役員として耶馬溪係としてフィリピンキャンプとしても悔いのないように全力であと半年頑張りたいです



### げっしー

今年一年間、耶馬溪係を務めるげっしーです。  
4.6月どちらのキャンプも皆さんから高い評価をいただき、最後のキャンプとなる10月も頑張っていく所存です。  
参加された方々に、この活動にどのような形であれ、何か得ることが出来るようなキャンプに出来るよう、メンバー全員で力を尽くします。  
総会での発表を楽しみにしておいてください！





## 広報係



### ゆうか

キャンプを三度経験でき、キャンプの良さをもっともっと深く知れました。FI九州のキャンプ大好きです。

まだ三度しか、とも考えれるけど、広報係として、今の自分の経験を最大限、そしてまだ知らない魅力も経験豊富な先輩たちから引き出して(笑)、FI九州のキャンプの良さをもっと伝えられるように頑張ります！

### れん

こんにちは。

インスタグラマーに生まれ変わりたいと日々思っている小川です。キャンプ経験はネパールの一度。ネパールという暑い地で熱い男に生まれかわり、部活や恋を全力で駆け抜けてます！残り半年、FIの活動にも精を出し全力で頑張ります。



### ゆりこ

FIの魅力を十二分に伝え、

たくさんの方が来てみたい！と思

える、目を惹くような記事を書きたいです。そのために、記事だけでなくレイアウトなども工夫していこうと思います。少しでも多くの人に興味を持ってもらえるよう、精一杯頑張ります。さらに楽しいFIを創っていきます！よろしくお願ひします。



### かせちゃん(チャイナキャンプリーダー)

前期の怠惰ぶりを反省するとともに、学校の課題と両立できるように時間の使い方を工夫しながら、FI九州の広報係として貢献できるようにFIの活動に参加したいと思います。広報係の仲の良さを良い仕事に繋げていきたいです！！



キャンフリーダー



フィリピン たけしよー

ネパール あいわ



残り半年、FIWC九州委員会役員をよろしくお願いします！！

『News Letter2019 -秋-』

発行日：2019/10/05

発行者：FIWC九州委員会 広報係

FIWC九州委員会 SNS、問い合わせ先： ↓

	<Facecok> FIWC Kyushu		<HP> <a href="http://fiwckyushu.jimdo.com">http://fiwckyushu.jimdo.com</a>
	<Mail> fiwcq@hotmail.com		<Twitter> @fiwckyushu

